



しらたかの“芸術の秋”を楽しむ 第46回白鷹町芸術祭

10月29・30日の2日間、第46回白鷹町芸術祭が文化交流センターあゆ一むで開催されました。

1日目は、開会に先立ち「読書感想文コンクール表彰式」及び「芳賀秀次郎賞表彰式」が執り行われ、その後の「おんがく祭」と「歌謡発表」では、町少年少女合唱団や白鷹金剛会など計5団体が歌や楽器演奏、舞いを披露。2日目は「芸能まつり」と題して、一般公募の参加者を含む17組の出演者がそれぞれの“芸術”をステージ上で表現しました。さらに会場には、書や写真、絵画、工芸品など、町民の皆さんが生み出した芸術作品が一堂に会し、芸術の秋を楽しむ来場者の心を魅了しました。



魅力的な郷土食・豊かな食文化の継承のために 町内各小学校で郷土食伝承事業

白鷹町食の文化街道推進会議（菅原有一会長）が、郷土食の味とともに地場産農産物、自然、文化の豊かさ、先人の知恵などを子どもたちに伝えるために毎年実施している郷土食伝承事業。今年も町内各小学校の6年生を対象に行われ、児童たちは栗ごはんや芋煮、冷やしるなど、地元産の旬の食材をふんだんに使った郷土食を味わいました。いきいき深山郷のどか村でふるさとの味を楽しんだ鮎貝小学校の児童たちは、「とてもおいしかった」「郷土の味を引き継いでいけるようがんばっていききたい」と郷土食への関心を高めました。



ウイルス肝炎をテーマに講演会を開催 毎日を健康に過ごす術を学ぶ

10月6日、「ぜひ知っておきたいウイルス肝炎の治療」をテーマに、健康づくり講演会が町健康福祉センターで開催されました。

講演では、山形大学医学部教授の上野義之氏が、B型肝炎とC型肝炎の違いや治療法、日常生活で気をつけることなど、専門的な用語をわかりやすく例えるなどして説明。参加者は、自分自身だけでなく、家族や周りの方にも伝えられるようにと、メモをとりながら熱心に上野先生の話に耳を傾けました。